

永山小「確かな学力」育成プラン

令和7年2月～令和8年3月

旭川市立永山小学校

自ら学ぶ態度・学習習慣を身に付けさせるために

- ①児童の思い・願いを取り入れる授業評価の工夫
- ②家庭と学校が連携し、自ら進んで学習に取り組む環境づくり、学習習慣の定着
- ③「子ども育成プラン」に基づく家庭と学校との共同歩調
- ④図書資料の充実、情報・メディアを活用する学び方の実践
- ⑤体験的活動の充実（ボランティア）
- ⑥チャレンジテストの活用

知識・技能の確実な定着のために

- ①学力の基盤となる言語活動の充実、言語環境の整備
- ②学習規律、話し方・聞き方などの学び方の定着
- ③ICTを活用した個別最適な学習の充実
- ④複数の教員・講師による指導
- ⑤効果的な放課後学習の実施による、基礎的・基本的事項の定着

育てたい力

○学習意欲 主体的に学習に取り組もうとする態度

○思考力・判断力 学んだことを活用しつつ、論理的に考察し、自己の考えを適切かつ豊かに表現する力

○知識・技能 読み書きや四則計算などが確実にできる力

指導力の向上を図る研修

- ①思考力・判断力を高め、豊かに表現する力の醸成・育成
- ②研究部及びブロックを中心とした校内研究会の実施

知識・技能を活用する力を育成するために

- ①問題解決的な学習の重視
- ②自分の思いや考えをもち、豊かに表現し、目的や意図に応じて筋道を立てて考える授業の推進
- ③身に付けた言語力を発揮する場面の設定（聞く側を意識した発表の工夫の充実）
- ④地域の「人・もの・自然」と触れ合う体験的な学習の充実及び身に付けた知識・技能を活用する場の設定

- ③研修の充実（学習指導要領による、主体的・対話的で深い学びの実践の蓄積と交流）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（6年）

本校児童の実態

令和6年度教研式学力調査の結果（5年）

国	「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる」や「日常よく使われる敬語を理解している」において、課題が見られた。
算	「百分率で表された割合について理解している」や「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる」において課題が見られた。
質 問 紙	高い傾向を示したもの (1) いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 (2) 国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。 (3) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をよく活用した。 (4) 人が困っているときは、進んで助けている。 (5) 先生は、分かるまで教えてくれていると思う。 低い傾向を示したもの (1) 授業時間以外の普段（月～金）1日当たりの勉強時間。 (2) 土曜日や日曜日など学校が休みの日の勉強時間。 (3) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）の使用時間。 (4) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 (5) 授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないかを考えている。

国 語	「話すこと・聞くこと」の ・＜文の中における主語と述語との関係を捉えること＞ 「書くこと」の ・＜資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること＞ について重点的に取り組む必要がある。
算 数	「データの活用」の ・＜速さについて言葉や数を用いて記述する＞ や＜折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する＞ について重点的に取り組む必要がある。